

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 文化振興課  
 担当名: 総務・財団担当  
 内線: 2877

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B6	県立文化会館施設整備事業費			一般会計	総務費	県民費	文化振興費	県立文化施設整備事業費		
事業期間	平成27年度～	根拠法令	なし				戦略項目			
							分野施策	050101 文化芸術の振興		
<b>1 事業の概要</b> 彩の国さいたま芸術劇場は、平成6年の開館後、20年を経過し、老朽化が進んでいるため、平成27年度で、大ホールの舞台機構改修と照明設備の改修を実施する。熊谷会館については、平成27年3月末に閉館する予定であり、閉館後の施設管理のために必要な侵入防止と低圧引込工事を行う。 (1) 芸術劇場大ホール舞台機構改修工事 68,601千円 (2) 芸術劇場大ホール照明設備改修工事 45,177千円 (3) 熊谷会館建物周り侵入防止工事 421千円 (4) 熊谷会館低圧電力引込設備工事 162千円 工事請負費の契約差金発生等に伴う減額				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 芸術劇場大ホール舞台機構改修工事 255,549千円 大ホールの舞台を稼働する設備を改修する。 イ 芸術劇場大ホール照明設備改修工事 262,345千円 大ホールの上部に設置している照明設備を改修する。 ウ 熊谷会館建物周り侵入防止工事 886千円 閉館した熊谷会館への侵入防止のための工事を行う。 エ 熊谷会館低圧電力引込設備工事 2,080千円 閉館した熊谷会館の電気設備を低圧電力に切り替える工事を行う。 オ 非常勤職員費 3,004千円 (2) 事業計画 平成27年度 (3) 事業効果 ・彩の国さいたま芸術劇場は、平成6年の開館後、平成22・23年に部分的な改修工事が行われたが、20年を経過し、老朽化が進んでいる。そこで、施設の利用の中心である大ホールの舞台機構改修と照明設備の早急な改修を実施する必要がある。 ・平成27年3月末に閉館した熊谷会館については、閉館後の施設管理のために必要な侵入防止工事と電気設備の低圧電力の引込工事を行う必要がある。 (4) 補正予算の概要 ア 工事請負費 契約差金の発生による減額。 イ 事務費 経費節減による減額。						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)										
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×0.5人=4,750千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		諸収入	県債							
決定額	114,361		114,000					361	409,503	
現計額	523,864	346	517,000					6,518		